

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		比内地鶏生産の生産構造改革が進み生産羽数が増加する。							
指標	指標名	農家出荷羽数(千羽)					指標の種類		
	指標式	農家出荷羽数(千羽)					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a		540	570	600	630			630
	実績b	510	データ等の出典						
	東北 全国	畜産振興課調べ							
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	04月	翌々年度	月	

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b		データ等の出典						
	東北 全国								
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	月	翌々年度	月	

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 日本一の地鶏として比内地鶏ブランドの揺るぎない地位を確立するためには、絶対的な食味の高さで差別化を図り、バラツキの無い高品質な比内地鶏を安定的に供給して行くことが必要である。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 実需者からのバラツキ解消に向けた要望や増大する需要に応じていくためには、大規模な経営体が生産の大宗を担うような生産構造の改革が必要である。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

比内地鶏は、単に地鶏生産に止まらず、加工など食品産業、飲食業、観光業など多くの産業や雇用に結びついている県の宝であり、県が積極的に比内地鶏ブランドの再構築を進める必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
重点事業	その他